

## 平成24年度第3回小牧市立図書館選書委員会会議録

- 1 開催日時 平成25年2月22日（金）  
午後3時～午後5時
- 2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室
- 3 出席者 会長 多田 昭子  
副会長 大間知 千鶴子  
委員 森 勝昭  
〃 舟橋 尚女  
欠席者 委員 木村 芳博  
〃 中川 裕子  
事務局 山田館長  
永井補佐  
渥美係長  
林 主査

- 4 議題 (1) 選書について  
(2) その他について

- 5 会議資料 選書資料

- 6 議事内容  
(1) 選書について

選書資料1 『本の美術史』について  
【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料2 『桂離宮 全1巻』について  
【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料3 『田中浩集 全10巻』について  
【事務局】 可が1、不可が、1保留が2ですので、ご協議をお願いします。  
【委員】 全然知らない人です。不可に近い保留にした。  
【委員】 私も保留にした。所蔵を見ると最近の本がある。要らないと思う

が、可の人の意見が聞きたい。

【委員】 私は可にした。これは票が分かれるところだと思うが、知っている人には必要だと思うし、その道に深いか深くないかによって賛否が分かれる。私は必要だと思う。一般的とは少し違うので、反対意見が多くなっても仕方ない。図書館としてどうかと聞かれたら、読みたい人はいる。無くては仕方がない。県立図書館や名古屋市の図書館、はては国会図書館へ行って検索すればいいというレベルになる。利用がないわけではない。

【委員】 知らないから要らないというのもおかしな話。10巻と言うのは相当な著者で思想家なんですね。

【委員】 類似の蔵書はある。

【委員】 一般的に言うと、桂離宮とか御所とかの写真となると、選書委員のほとんどの委員は、購入することにすると思うが、公共図書館利用で100人のうち1人でも桂離宮の庭の写真より、思想の本が見たいと言う人がいれば必要。

【事務局】 少数の人でも大切。桂離宮の写真はどこでも見られる。

【委員】 こういうことでいえば、6万円というのも高くないし必要。

【委員】 利用があるかということ。

【委員】 値段は10巻のわりには高くない。知らないで可に○がつけづらい。

【事務局】 事務局判断とします。

#### 選書資料4 『復刻版日清戦況写真』について

【事務局】 可が1、不可が、1保留が2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可にした。同じものであれば要らないが、過去のものも必要。日清日露は、日本を変えていった黎明期。この時期の記録写真なので、どれだけあってもよい。不都合なことはない。図書館のキャパが大きくなればなるほど、たくさんある方がよい。ぶらりと来た人たちが楽しんで見られる。「坂の上の雲」ではないが、西洋の様式を取り入れて国らしい国を作り始めた時の日清日露の戦争記録写真はどれだけあってもよい。この点は、譲れない。

【委員】 写真が新しいわけでもないし、2012年の所蔵がある。

【委員】 私も保留にしたのは、2012年のものを所蔵しているから。

【委員】 あって悪いものではない。

【委員】 だからと言って、では買いましようともならない。

【事務局】 日本陸軍の公式写真集。2012年のものは研究書なので写真集そのものではない。少し違う。類似のものがあるかと言えない。

【委員】 最初パンフレットの写真は迫力がありいいと思ったが、所蔵がそんなに無くてもいいかと思った。委員の話を聞いて可にします。

【委員】 戦況写真だから臨場感がある。モノが違うのなら可にします。

【事務局】 では可が3で購入します。

選書資料5 『図説日本の結び 新装版』について

【事務局】 不可が2 保留2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 最初、図が出ていて面白いと思ったが、所蔵が多いので要らないと思った。

【委員】 新しい本も所蔵している。この本は、新しいものが書かれているわけではなく、伝統的なものが書かれている。

【委員】 たくさんあるから保留にしたが、不可に近い保留です。

【委員】 知識に自信がないと可にはしづらい。又必要ないと思っても保留の方に○をしてしまう。

【委員】 不可の方がしづらい。本はあっても悪くないので、はっきりした論拠がなくても可にしてしまう。

【事務局】 基本的にはダメという本はない。

【事務局】 不可に近い保留の方が見えますので、不可が3で保留が1と言うことで購入不可とします。

選書資料6 『加山又造屏風絵集成』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料7 『復刻日本地震史料 全4巻』について

【事務局】 可が1、保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可に近い保留です。必要な本とは思いながら一番迷った。

【委員】 今地震は、しょっちゅう起っているのですごく問題だが、値段が高いし類書も多い。専門的なのでこれを見ようと言う人は少ない。

【事務局】 研究書。

【委員】 情報として知りたいと思うのではなくて専門的。

【委員】 本当に知りたい人は、昭和26年と書いてあるが、別の方法で調べることができる。私は不可に近い保留。

【委員】 可です。理由は「日清戦況写真」と同じです。毎日TVで出てきている。日本人にとって地震は頭の中に入らないという人はいない。毎日地震情報がある。こういうものは図書館にそろえる必要がある。一般家庭では絶対買えない。図書館に足を運んで初めて見ることができる市の財産として買うべき。蔵書もたくさんあるが、古いものはリサイ

クルに回し新しいものを入れる。

【委員】 読み解くのがむづかしい。

【事務局】 そのまま復刻してある。武者金吉という人がひとりで編集したということは聞いている。

【委員】 専門的だから、もう少し情報的に見られる方が一般的でよい。でも、反対しにくい。

【委員】 手書きで書いてある。

【事務局】 事務局判断とします。

#### 選書資料8 『世界華人エンサイクロペディア』について

【事務局】 可が1、保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 エンサイクロペディアというタイトルは気に入らない。中国はこれからどんどん発展していったって、いろんな問題も出てくるけど世界で活躍する中国人は興味深い。

【事務局】 中国人の人名事典。

【委員】 エンサイクロペディアって何ですか。

【委員】 百科事典のこと。

【委員】 その言葉自体はどうかと思った。でもこの分野は面白い。類書はない。

【委員】 華人のすごさに興味はあるが、読みにくそう。

【委員】 興味はある。中国人はすごい力をもっている。日本人みたいにお人好しではない。所蔵はない。

【委員】 これから、どんどん世界へ散らばって動いていくのか、何処まで底力をだすのかは興味がある。

【委員】 所蔵は少ない。

【委員】 よくわからない。

【委員】 わからないが、ぱっと見た時によさそうだった。

【委員】 事務局で判断してもらってもよい。

【事務局】 事務局判断とします。

#### 選書資料9 『日本近現代医学人名事典 1869-2011』について

【事務局】 可が2、不可が1、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可にした。人名事典なのであってもいい。なければならぬというものでもない。

【委員】 可ですが、利用する人は多分いないかもしれないが、所蔵がないので一つはあってもいい。絶対購入というわけではない。

【委員】 人選の基準がわからない。

- 【委員】 所蔵が0件というのも不思議。ありそうな感じもする。
- 【事務局】 雑誌の別冊とか一般書では、病院のランク付けとか何処の医師がよいとか掲載されている物はある。
- 【委員】 過去の人のもの。
- 【事務局】 最新のものではないので、診てもらいたいと思う医師を調べる本ではない。
- 【委員】 何万人という医者が誕生している。
- 【事務局】 たとえば、小牧の医者「Aさん」とかが載っていれば、価値もある。
- 【委員】 強い意志はないので、事務局で判断してもらってもよい。
- 【事務局】 事務局判断とします。

選書資料10 『世界の花蓮図鑑』について

- 【事務局】 購入可多数で購入とします。